

ポートボール（第3学年）

運動の特性

2つのチームが互いに相手チームの防御を交わしながら、味方同士で協力してパスをつないでボールを運び、ゴールにシュートして得点を競い合うのが楽しいゲームである。

1 単元の目標

技能	- 両手や片手でボールを操作したりすることができるようにする。 - 空いている場所に素早く移動できるようにする。
態度	- ルールやマナーを守り、友達と励まし合って練習やゲームをできるようにする。 - 互いに協力して活動の場を作ったり、用具の準備を行ったりして安全に練習やゲームができるようにする。
思考・判断	- ルールを工夫することができるようにする。 - 簡単な作戦を立てることができるようにする。

2 2年間を見通した評価計画

	第3学年		第4学年	
	評価規準	具体的な児童の姿	評価規準	具体的な児童の姿
技能	- 片手や両手でボール操作することができる。 - コートの中を空いている所に動き、味方を見つけてパスしたり、シュートしたりすることができる。	- 片手や両手でパスやキャッチ、シュートをしている。 - ボールをキャッチしやすい所や味方のいる所を見つけてパスをつないでいる。	- 目的に応じて、ドリブルやパスができる。 - コートの中を空いているところに素早く動くことができる。	- シュートを打つために、ドリブルやパスを使って、ボールを味方同士でつないでいる。 - パスを受けやすい場所を見つけて素早く動いている。
態度	- 友達と協力し合い、進んで取り組もうとしている。 - ルールやマナーを守り、勝敗を素直に受け入れようとしている。 - 安全面に気をつけて用具の準備や片付けをしようとしている。	- 積極的に友達のよいプレーを見つけている。 - ルールやマナーを守り、試合前後の挨拶をきちんとしている。 - 友達と協力して準備や片付けを行っている。	- 互いに協力して用具の準備を行い、安全に練習やゲームをしようとしている。 - 仲間と協力し合い、ゲームの楽しさや喜びを味わいながら、進んで取り組もうとしている。 - ルールやマナーを守り、勝敗を素直に認めようとしている。	- 安全に配慮して準備・片付けをしている。 - 練習やゲームにすすんで取り組んでいる。 - 勝敗を素直に受け入れ、挨拶をしている。
思考・判断	- みんなが楽しめるようにルールを工夫しようとしている。 - チームや個人のよさを生かした簡単な作戦を考えようとしている。	- よりゲームが楽しくなるような意見を発表している。 - チームで話し合った作戦を振り返っている。	- 自分の課題を意識し、目的をもって練習をしている。 - チームの特徴を知り、よさを生かした作戦を立てている。 - 作戦を意識してゲームをしようとしている。	- 自らの課題に気づき、練習している。 - チームの特徴や良さを生かした作戦を立てている。 - 作戦を意識しながら、攻めたり、守ったりしている。

3 学習過程（全8時間）

		知る・試す		慣れる・広げる				深める
時	1	2	3	4	5	6	7・8	
学習過程の工夫	学習の進め方を知る		個人やチームの課題をとらえて、作戦を考える				作戦を立て、実行する	
	集合・整列・挨拶・準備運動・ウォーミングアップ							
	①ルールを知る。 ②ためして遊ぶ。 ③振り返る。 (学習カード)	①ゲーム〈1〉 ②振り返り ③ゲーム〈2〉	①M ゲーム〈1〉 ②T 振り返り→作戦→練習 ③M ゲーム〈2〉				①リーグ戦	
	振り返り・整理運動・挨拶・片付け							
ゲーム設定の工夫	【場の工夫】 ・ゴールマンとガードマンの場所を円状にし、裏にもスペースを設ける。		・話し合いや練習時間を与える。 ※タブレット端末→パスなどの技能や攻め方を中心とした作戦の中の動きを振り返ることに活用する。(振り返りの時)				・作戦ボードを使い、チームの作戦を確かめながら試合をする。	
	ここがねらい！ 空いている場所が増え、作戦や動きに幅がもたせる。		ここがねらい！ タブレット端末を活用した話し合いの時間を設けることで、動きを振り返り、修正することができるようにさせる。				ここがねらい！ 一人一人が作戦を通した動きを意識しながら動くことができるようにさせる。	
	【ルールの工夫】 ・シュートが決まったら5点。2回目からは1点。		・特性を意識した教師の言葉がけを場面に応じて児童に投げかける。					
	ここがねらい！ まだシュートを打っていない児童にシュートをさせようとし、チーム内でのかわりやシュートチャンスが増えるようにさせる。		ここがねらい！ 児童も同じチーム内で動きが高まる声かけができるようにさせる。					

教師の指導・助言

(○：評価規準に達していない児童 ◎：評価規準以上の児童)

観点	学習状況		だれに	助言例
技能	パスを出す	味方が捕りにくいボールを投げている	個人	○相手の胸のあたりをめがけて、やさしいボールを投げたら捕りやすいよ。
		どこにパスを出せばよいかわからず止まってしまう	個人	○仲間の声をよく聞こう。 ○どこに仲間がいるか見付けよう。
		パスを出せない仲間を見ているだけになっている	個人 チーム	○「〇〇さんにパス」「前にパス」など具体的な指示の入った声かけをしよう！（ぐんぐん言葉）
		パスがなかなかつながらない	個人 チーム	○ボールにかたまらず広がろう。 ○短いパスをたくさん出そう。
	シュートチャンスをつくる	ボールを受けやすいところに動けず、ボールを見て止まっている	個人	○相手から離れて、空いている場所を見つけて動こう。（実際にその子の後ろにつき、パスをもらえそうな場所まで一緒に移動する。） ○周りに相手チームがいないときは「パス、パス」と大きな声で呼んでみよう。 ○ボールを持った人より前に走ろう。
		ボールをキャッチできない	個人	○ボールをもらう方向に体を向けよう。 ○しっかり腕を伸ばし、手のひらを広げて構えよう。 ○ボールをつつむように胸のところでキャッチしよう。
	シュートする	シュートが決まらない	個人	○チームで「シュート」という声をかけてあげよう。 ○フリーになったらすぐシュートを打ってみよう。 ○おへそをゴールに向けてシュートを打とう。 ○山なりのシュートをしてごらん。 ○ゴールマンの手にパスするようにシュートしてみよう。
	守備	守備で動きが止まってしまう ボールにかたまって動いている	個人 チーム	○じゃまする人を決めよう。 ○空いている人はいないかな。 ○守る人や場所を決めよう。 ◎相手が攻めづらいところに守っているね。
		点をたくさん取られてしまう	個人 チーム	○シュートさせないように手を挙げて守ろう。

				○フリーになっている人はいないかな。
態 度	規則が守れない	得点差が出るとゲーム途中であきらめたり、ゲームを抜けたりしてしまう	個人	○あきらめなければ、勝つチャンスはきっとある。 ◎負けていても一生懸命プレーしている○○さんはかっこいいよ。
		勝敗が受け入れられない	個人	○悔しかったね。でも最後のあいさつをきちんとできる人は立派だね。
	励まし合えない	認め合いが見られない	チーム	○「どんまい」「ナイスシュート」等、友達が嬉しくなるような声をかけよう。
		個人プレーが多く、チームとしてのまとまりが感じられない	チーム	○みんながボールをさわって得点すると気持ちいいね。
			個人	○仲間のよい所やうまくいったところをどんどん教えてあげよう。
	安全を守れない	準備や片付けができない	チーム	○役割分担を決めてやろう。 ◎きちんと準備や片付けができるチームはチームワークがいいんだね。
思 考・判 断	簡単な作戦が立てられない	作戦が立てられない	チーム	○たくさん点をとるためにはどうすればいいかな。 ○点を取られないようにするためにはどうすればいいかな。
		チームのメンバーのよさが作戦に生かせていない	チーム	○友達のいいところを見付けて伝えよう。
		具体的なチームのめあてを立てられない	チーム	○チームで頑張りたいことは何かな。
		チームで話し合ったことを次の試合に生かせない	チーム	○試合の前にチームカードを見て、できたことやできなかったことを確かめよう。
		きちんと振り返ることができない	個人 チーム	○だれか友達のプレーでいいなと思ったことはあった？次の時間はこうしたいと思うことはないかな。 ○前よりうまくできたことはどんなことかな。 ◎詳しくよかったところ、次はこうしたいところをカードに書ける人は、コツがわかってきているね。そういう人は上達するよ。